

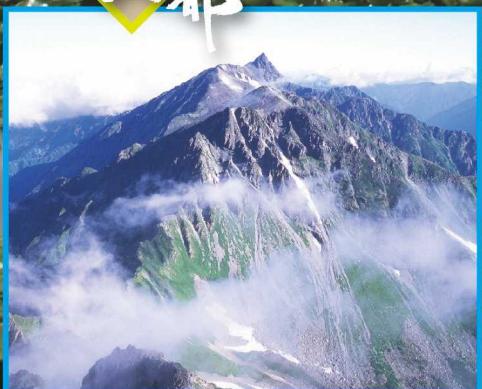
松信州本

MATSUMOTO

3 ガク都

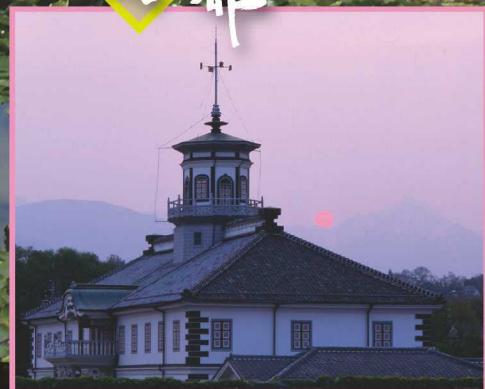
自然と歴史が織りなす美しい二重奏の響き。

山都



3,000m級の峰々が連なる北アルプスや、
広大な高原大地を誇る美ヶ原高原を擁する

学都



旧開智学校や旧制松本高等学校などに見られる
教育尊重の気風漂う街

楽都



セイジ・オザワ 松本フェスティバルや、
スズキ・メソードに代表される音楽の街

岳都

日本の秀峰を
清冽な水と空氣、

五感を潤す松本。

東に2,000mを越える眺望を誇る美ヶ原高原。西に3,000m級の秀峰連なる北アルプス。
南には高ボッチ高原。市街地のどこからでも美しい山々を見渡せる松本は、まさに「岳都」と呼ぶにふさわしい「アルプスのまち」。イギリスの宣教師ウォルター・ウェストンによって北アルプスが世界に紹介されて以来、アルプスの玄関口として世界中のアルピニスト達を迎えてきました。

上高地

悠久の自然を満たし、旅人を魅了してやまない日本を代表する山岳景勝地。4月27日開山祭～11月15日閉山式まで、色とりどりのストーリーは何度訪れても飽きない大きなスケールです。

奈川高原

野麦峠を通じて岐阜県と接する奈川高原は、松本市の最西端にあり、一級品の蕎麦とスキー場、そして温泉が魅力の高原リゾートエリアです。





福寿草



オオヤマザクラ



水芭蕉



八重桜



レンゲツツジ



ヤマワサビ



クルマユリ



二輪草



クマクサ



美ヶ原高原

松本市の東に広がる高原大地。北・南アルプス、八ヶ岳、浅間山、富士山までもが見渡せる360度の大パノラマが魅力です。

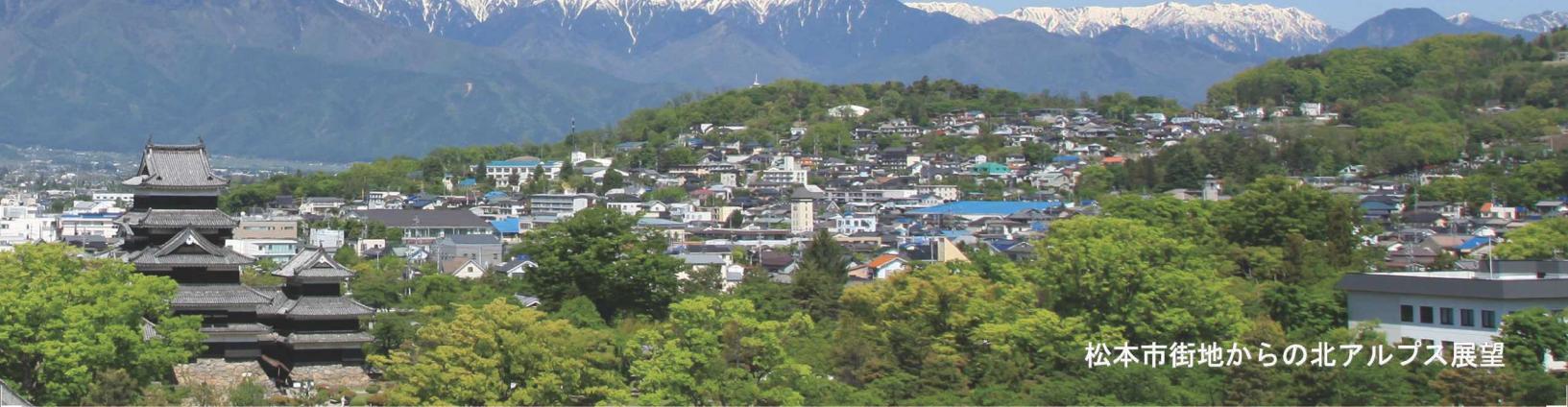
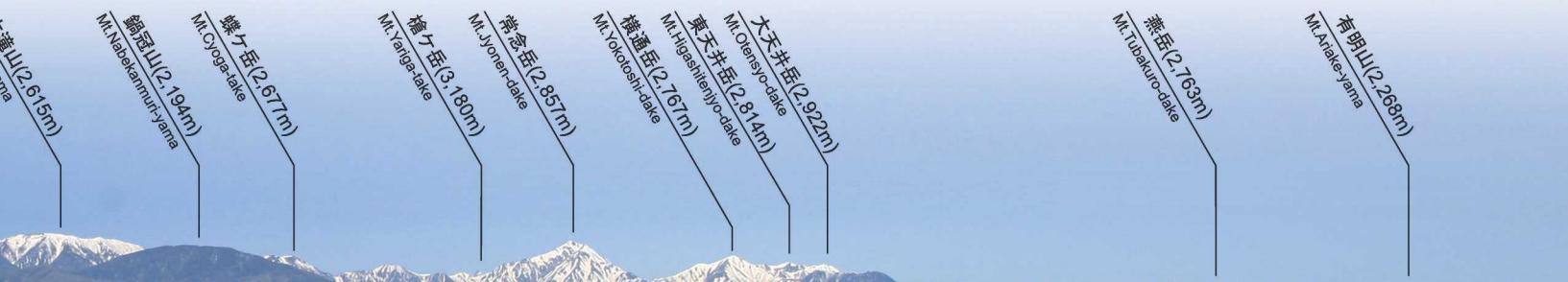
松本に咲く花

松本は標高 555m ~ 3,190m の高原大地。可憐でたくましい高山植物から、市街地に咲く花々まで、種類豊富な色とりどりの花たちの美しい饗宴が四季折々に楽しめます。



乗鞍高原

乗鞍岳の東に広がる乗鞍高原は、広大な一ノ瀬園地や湿原、趣の異なる滝、雪質絶好のスキー場など、四季を通じて見どころ豊富。



松本市街地からの北アルプス展望

学都

情熱が環境をつくり
先人達の思いを受け継ぐ松本。

近代日本の幕開けと時を同じくして、松本に新しい教育の息吹が薫り始めました。擬洋風建築としても大変貴重な旧開智学校が、市内外の篤志家たちによって建築されたのもこの時期。時は流れても、教育にかける愛情は県内随一といわれ、旧制松本高等学校からは数多くの著名人が卒業しています。



重文旧開智学校校舎

TEL 0263-32-5725

明治9年に建てられた擬洋風建築の小学校校舎。国内で残る最も古い小学校の一つです。色ガラス、風見鶏のついた八角塔など端々に文明開化の息吹が感じられます。明治初めからの教育資料が展示されています。

開館時間: am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)

休館日: 3月～11月の第3月曜、12～2月の月曜(祝日の場合は翌日)

12/29～1/3

校舎に多く見られる彫刻は、旧開智学校の特徴の一つ。
これは「棟唐戸(さんからど)」。校舎内に8面あります。



重文 旧松本高等学校

旧制高等学校記念館

TEL 0263-35-6226

北杜夫著「どくとるマンボウ青春記」の舞台にもなり、大正時代に建てられた洋風校舎は当時の面影を今に伝えます。ヒマラヤ杉に囲まれた旧松本高等学校の敷地内にある旧制高等学校記念館は、明治以降、多くの人材を輩出した旧制高等学校の教育と精神を伝える、全国初のパンカラ記念館。

開館時間: am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3



県宝 旧山辺学校校舎

TEL 0263-32-7600

和洋両様の建築様式を取り入れた、今に残る数少ない明治初期(明治18年建立)の校舎。旧開智学校の「ギヤマン学校」と比べ「障子学校」と呼ばれました。

開館時間: am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)

休館日: 3月～11月の月曜日(祝日の場合は翌日)、12月～2月の土日祝以外の曜日、12/29～1/3

バス: 入山辺線「里山辺出張所前」下車。徒歩1分。

少し足を延ばして

ちょっと足を延ばすと、一日では回りきれない
スポットがいっぱい。ゆっくり、じっくりと…。



松本市立博物館 Tel.0263-32-0133

県内では最も古い歴史を持つ博物館。松本「まるごと博物館」の中核施設で、松本城関連資料や国指定の重要有形民俗文化財コレクションは一見の価値あり。
開館時間：am8:30～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：12/29～1/3
◆松本城と共に入場券



県立 旧司祭館 Tel.0263-32-5725

明治22年(1889)にフランスのクレマン神父によって建築された西洋館です。明治34年から27年の歳月を費やし、日本で初の本格的な[和仏辞典]を編纂し始めた建物でもあります。
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：3月～11月の第3曜日(祝日の場合は翌日)、12～2月の月曜、12/29～1/3 ◆入館無料



史跡 弘法山古墳

中山丘陵の北端にある、全長66mの前方後方墳。出土品の特徴から、3世紀末ごろの墓であることが判明。東日本でも最古級です。西に北アルプスが展望でき、約2,000本の桜が咲き誇り、花見シーズンは多くの人出でにぎわうスポット。
バス：並柳団地線「弘法山入口」下車。徒歩10分。
JR：「南松本駅」下車。徒歩20分。



松本市時計博物館 Tel.0263-36-0969

故・本田親蔵氏が収集した貴重な和洋の古時計コレクションを中心に、常時約110点の時計を動いている状態で展示。古時計の時報もお楽しみください。
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)12/29～1/3



松本市はかり資料館 Tel.0263-36-1191

藏づくりの建物の中に全国のはかり約150点を展示。新たに第3展示室(旧三松屋蔵座敷)がオープン。市内の博物館ではコニーワ度No.1。
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3



松本市立考古博物館 Tel.0263-86-4710

松本市域の考古学の拠点として、史跡弘法山古墳の出土品をはじめ、縄文から平安時代までの考古資料を展示。また、体験コーナーも設置しています。
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：3月～11月の月曜日(祝日の場合は翌日)、12月～2月の土日祝以外の曜日、12/29～1/3
バス：中山線「中山園口」下車、徒歩3分。土・日・祝 12/29～1/3は運休



松本市歴史の里 Tel.0263-47-4515

たてもの野外博物館として、信州の近代をテーマに貴重な建物を移築復元。◆重文 旧松本区裁判所庁舎 ◆旧 松本少年刑務所独立居房◆木下尚江生家 ◆工女宿宝来屋
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3
電車：松本電鉄上高地線「大庭駅」下車、徒歩15分



重文 馬場家住宅 Tel.0263-85-5070

「雀齋し」と呼ばれる棟飾りを付けた本棟造りの主屋他、江戸時代末期建築の主要建物が屋敷林や土塁など周囲の環境と共に保全されています。
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3
バス：寿台線か松原線「寿台東口」下車、徒歩15分。



松本市四賀化石館 Tel.0263-64-3900

松本市東北部の四賀地区一帯は、800万年前までは海の底でした。クジラや貝等有数の化石産出地。世界最大級のシガマッコウクジラ、世界各地の化石や動物標本に出会えます。
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：3月～11月の月曜日(祝日の場合は翌日)、12月～2月の土日祝以外の曜日、12/29～1/3
バス：四賀線でバスターーミナルから30分。「化石館前」下車



松本民芸館 Tel.0263-33-1569

ケヤキ林につまれた なまこ壁の蔵造り。静寂な館の中に心温まる民芸品約1,000点が展示されています。地方では規模・内容ともとく民芸館。
開館時間：am9:00～pm5:00（入場はpm4:30まで）
休館日：月曜日(休日の場合は翌日)、12/29～1/3
バス：美ヶ原温泉行き「松本民芸館口」下車。徒歩3分。

準一都

やさしく紡ぐ人と人のハーモニー。
穏やかな調べに耳を傾ける松本。

子供の才能を伸ばし、世界に素晴らしい音楽教育の輪を広げ数々の著名な演奏家を輩出する「スズキメソード」。小澤征爾の指揮と世界屈指の演奏家たちの共演でその名を知られ、世代を超えて多くの人が参加できる、世界に類を見ない「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」。松本にはいつもやさしく美しい旋律が流れ続けています。



セイジ・オザワ 松本フェスティバル

恩師・斎藤秀雄氏を偲び、世界的指揮者の小澤征爾とサイトウ・キネン・オーケストラが主となり、オーケストラコンサートとオペラ、室内楽で構成される総合的国際音楽祭「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」として1992年松本で誕生しました。2015年から「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」に名称を変更、より国際的な音楽祭として世界から注目されています。

オーケストラ・コンサートを「キッセイ文化ホール」、オペラを「まつもと市民芸術館」、室内楽を「ザ・ハーモニーホール」若手音楽家の勉強会発表会を「あがたの森文化会館」を会場に、毎年8月～9月上旬に開催。6月チケット発売。

◆セイジ・オザワ松本フェスティバル実行委員会

TEL0263-39-0001



キッセイ文化ホール TEL0263-34-7100

2,000名を収容する大ホールと最大746席の多目的中ホール、国際会議室には4カ国語同時通訳設備を備えており、国際会議、講演会、シンポジウム、学会など様々な会議やイベントに利用されます。
◆9時～21時30分開館、基本火曜日と年末年始休館



まつもと市民芸術館 TEL0263-33-3800

4層のバルコニーを備えた天井可変式最大1,800席の馬蹄形の主ホール。ワンボックス型288席の小ホールなどを備えます。様々な舞台芸術の創造や鑑賞機会の提供とともに、芸術文化の支援を通じ、多くの人々が集い交流する拠点です。
◆8時30分～22時開館、原則通年開館(不定休)



松本市音楽文化ホール TEL0263-47-2004

パイプオルガンを備えた693席の音楽専用主ホールの他、小ホール、練習室、研修室や喫茶店等を備えています。地域に根ざした音楽活動の育成や、定期的に演奏会に取り組み、音楽芸術の活動拠点となっています。
◆9時～22時開館、毎週月曜日と12/28～1/3 休館

文化芸術のあふれるまち

美術館や芸術館など文化関係施設も充実。年間を通じて、多彩な催しでまちはいつもにぎやかです。



スズキ・メソード

「どの子も育つ、育て方ひとつ」という母語教育法の理念に基づき、バイオリン、ピアノ、チェロ、フルートによる幼児からの音楽教育を行っています。単なる音楽教育の枠を超えた人間教育として、創始者・鈴木鎮一の理念は、今では世界46カ国に広まっています。

鈴木鎮一記念館 Tel0263-34-6645

才能教育の創始者・鈴木鎮一氏の邸宅。カザルスやロストロボーヴィチなど、世界の巨匠たちも度々訪れています。業績をたたえる数多くの資料を公開展示、スズキメソードの真髄を知ることができます。
開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:月曜日(休日の場合は翌日)12/28～1/3
◆入館無料



松本市美術館 Tel0263-39-7400

松本出身の前衛芸術家・草間彌生、書家・上條信山、洋画家・田村一男など、松本ゆかりの作家の作品や、山や音楽をテーマとした作品、野外彫刻を収蔵・展示。美術館正面の《幻の華》は、草間彌生の世界最大の野外彫刻作品。

観覧料:大人410円 大高生200円(団体割引あり) 企画展は別途入場料

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/2



日本浮世絵博物館 Tel0263-47-4440

松本出身の紙の諸式問屋・酒井家五代が、200年にわたり収集してきた日本を代表する浮世絵の殿堂。約10万点に及ぶ酒井コレクションには、肉筆、版本を含め、浮世絵の初期から現代版画までが網羅されています。

入場料:一般1,000円 中・高・大学生500円 小学生以下無料(団体割引あり)

開館時間:am10:00～pm5:00(入場はpm4:30まで) 入館料は、2019年4月現在のものです。

休館日:月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始

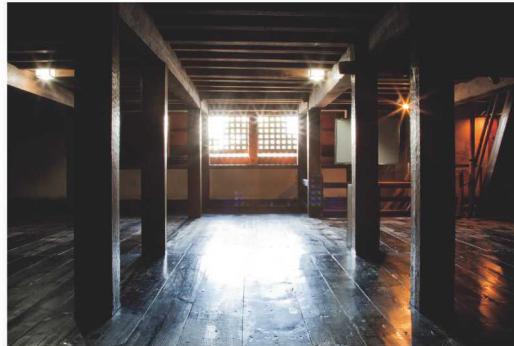
国宝 松本城

文禄（1593～4）時代に建てられた五重六階の天守を中心に、連結複合式と呼ばれる独特的の構成をもった五棟の櫓が連なる天守は、四百年の風雪に耐え、戦国時代の優れた築城技術を今に伝えます。日本アルプスまでをも借景にした姿が、絶妙の調和を生み出しています。



◆太鼓門と玄蕃石

二の丸への正門です。当時、通行には厳しい規制がありました。台上に太鼓が置かれ、ここからあらゆる合図が発信されていました。太鼓門の一一番大きな石は「玄蕃石」と呼ばれています。高さ4m、重さ推定22.5tの巨石です。天守を完成させた石川康長が玄蕃頭(げんばのかみ)という位を授かっていたためこの名が付きました。この石にまつわる築城当時の伝説は現地でお確かめください。



◆鉄砲蔵（2階） 鉄砲戦に備えた松本城や火縄銃の歴史が分かりやすく展示されています。

天守の内部です。石垣を除いた天守の高さは約25m。木造でこれだけの高さを組むためのいろんな工夫がされています。「先人の知恵」を登ってお確かめください。急な階段にはご注意を。

公開時間：am8:30～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日：12/29～12/31 ※松本市立博物館と共に通入場券



市重文 高橋家住宅 TEL0263-33-1818

(開館日以外は 35-5725 重文旧開智学校へ)
現存する武家屋敷としては県内で最も古い(17世紀前半と推定)建物の一つ。松本藩が藩士の住まいとして所有していたいわば官舎です。
開館時間：am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
◆開館日：3月～11月の土・日曜・祝日。12月～2月の日曜。
(12/29～1/3は休館)



繩手通り

なわて

四柱神社と共に発展した通り。松本初の夜店が始まった場所でもあり、現在も露店やオープンカフェが並びます。

上土通り

あげつち

大正時代の雰囲気が色濃くただよう街並み。かつては映画館などを中心にぎわった下町風情を残す個性的な通り。

中町通り

なかまち

火災から街を守るために造られた白と黒の「なまこ壁の土蔵」が続く、しっとりとした旧善光寺街道沿いの通り。



湧水めぐりにはパンフレット
「まつもと水巡り」をご利用ください。



「松本まちなか観光ボランティアガイド」
が、ご案内します。

地元を知り尽くしたガイドがボランティアでご案内します。
ご予約は「松本市観光情報センター 0263-39-7176」へ、
ご希望日の1週間前までにどうぞ。

多彩な自然環境と泉質を有する屈指の大温泉郷。



浅間温泉

室町時代には深志城(現松本城)の庇護を受け、江戸時代には城主の御殿湯が設けられた歴史の湯。松本の奥座敷とも呼ばれる温泉街は、文人墨客に愛され古き良き趣ぎと近代施設の新しさが調和しています。



横田温泉 よこたおんせん

昭和32年に開湯。新浅間温泉を改称し現名称に。現在は3軒の宿が軒を連ねる静かな温泉街です。浅間温泉から1.5kmほど南に位置し、美ヶ原高原や松本市街地探索に便利。ひなたぼくの風情をほわってください。



穴沢温泉 あざわおんせん

松林に囲まれた静寂な環境。源泉は湯元「岩本の湯」として古くから善光寺街道の旅人が湯治し、現在も、ひなびた風情が静かな人気を呼びています。神経痛や筋肉痛、関節痛などに効能があります。



童島温泉

波田地区の、梓川渓谷沿いにある日帰り温泉施設。アルカリ性単純温泉天風呂、内風呂とともに48畳の広々とした無料の休憩室も備え。湯治場そのままで気軽に立ち寄りが味わえます。



美ヶ原温泉 うつくしがはらおんせん

温泉の歴史は遠く奈良時代にまでさかのぼります。以来、代々の松本城主の格別な庇護を受けてきました。御母家、湯の原、藤井などの温泉の総称、知名度においても信州を代表する温泉です。



扉温泉 とびらおんせん

松本市街から美ヶ原高原に向かう薄川上流、標高1,100mにある閑静な山の温泉。1軒の宿と日帰り湯があります。起源は明治初期に山仕事をする民が呂つけたと伝わる「東の屋」「西の白骨」と言われる名湯です。



崖の湯温泉 がけのゆおんせん

鎌倉時代に起つた崖崩れの断層より湧き出でたと伝わる、鉢伏山山麓の温泉。傷ついた猿がこの湯で治療していたところを発見されて以来、湯治場として利用されたと言います。リラクマチや神経痛に効能あり。



さわんど温泉

平成10年に中の湯坂尋常地区から引湯しました。たっぷりの湯量は、肌にも柔らかく、芯から温まると好評です。上高地や飛騨高山方面への旅の行き帰りなど、気軽にゆったりと利用できるのが魅力です。

風と季節が湯の色を彩る

上高地の温泉



白骨温泉 しらほねおんせん

11軒の湯宿は、それぞれが源泉を持ち、その泉質は微妙に異なり、宿ごとの「湯号」としてその特徴を表しています。飲湯は胃腸によく効くとされ日本で初めての飲泉カップも開発。人気抜群の秘湯です。



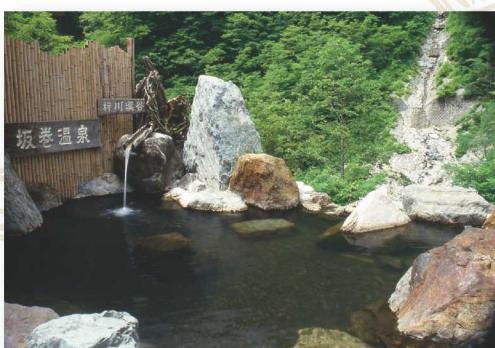
奈川温泉 ながわおんせん

渓流黒川のほとり、上高地乗鞍スーパー林道の基点近くに湧く、自然に囲まれた里山の出湯。泉質は、ナトリウム炭酸水素塩泉で、優しい肌触りの湯として人気です。飲泉も可能で、胃腸病や肝臓病に効果あり。



渋沢温泉 しぶさわおんせん

奈川高原、野麦峠スキー場に湧き出る温泉。肌触りがやさしく、実際に湯の成分もマイルド。肌の弱い方や高齢者も、安心して浸かることができます。静かな山あいの温泉風情も魅力です。



坂巻温泉 さかまきおんせん

梓川渓谷沿いにたたずむ静かな1軒宿の温泉。胃腸や肝臓に効能がある硫黄泉は「子宝の湯」として知られています。露天風呂では野趣あふれる渓谷美を堪能ください。日帰り入浴も可能です。



乗鞍高原のりくら温泉郷

乗鞍岳の麓に広がる乗鞍高原に湧出する4つの温泉[乗鞍高原温泉][すずらん温泉][安曇乗鞍温泉][わさび沢温泉]。泉質の異なるそれぞれの温泉で、スキーやトレッキング後の疲れた体をほぐしてください。



新奈川温泉 しんながわおんせん

奈川温泉の近くに湧出する、単純泉の温泉。肌触りが柔らかく、成分がマイルドなので、肌が弱く敏感な方にも喜ばれています。上高地や乗鞍への観光にも絶好の宿泊拠点となる場所です。



上高地温泉 かみこうちおんせん

焼岳火山帯の地下から湧出する温泉で、泉質は肌にやさしい単純温泉です。ウェストン牌の付近に2軒のホテルがあります。いずれも露天風呂があり、外来入浴も可能です。



中の湯温泉 なかゆおんせん

国道158号の上高地分岐の近くに湧く温泉です。湯量が豊富で、温度が高いのが特長。1,500mの標高から眺める雄大な北アルプスのロケーションが魅力。旅館が1軒、洞窟風呂[ト伝の湯]もあります。

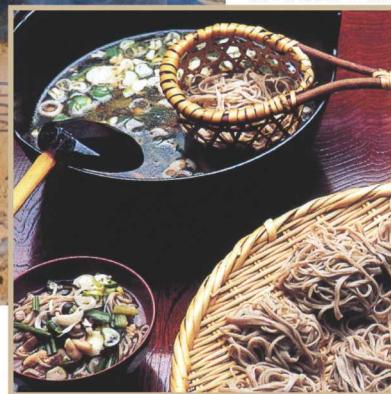
都市近郊型の温泉地から高原の出湯、一軒宿の秘湯まで、その数は16カ所に及びます。個性豊かに、泊りも日帰りも、浴場に満足、泉質に満足、料理に満足、絶景に満足。四季の移ろいを目で肌で感じ、台地がもたらしてくれた神秘に満足。

旬の素材を贅沢に召し上がる。

自然に逆らわず、心を込めて作り出される野菜や果物は、ここでしか食べられない、信州ならではの旬の味。



奈川名物とうじそば



そば

地域によって、その製法も食べ方もさまざま。
その奥深さを、食べ歩いてお確かめください。



ブドウ、スイカ、リンゴ

松本の山辺地区は「長野県ぶどう栽培発祥の地」。波田産のスイカは全国屈指の名産品。栽培面積・生産量も全国2位を誇るリンゴ。昼夜の寒暖差と日照時間の長さが生み出す味をご賞味あれ。



冬支度はお葉洗いから。
「お葉漬け」は、今も冬を代表する味覚

信州を代表するソウルフード

信州は「平均寿命日本一の県」。その健康を支える食文化が注目されています。山国ならではの旬の食材と素朴な味は、何も飾らないからこそ飽きないです。



山賊焼き



山賊焼き

山賊焼き

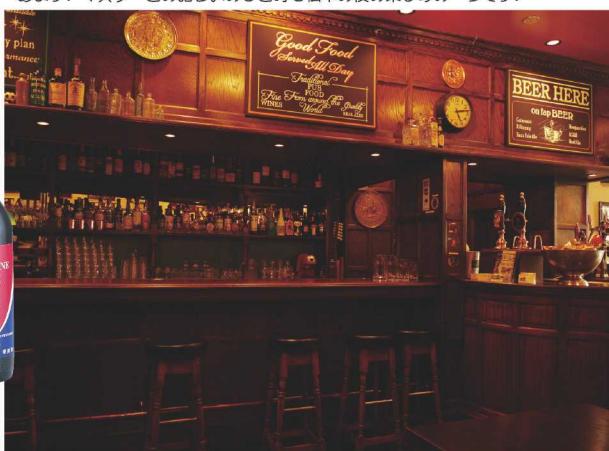
松本スイーツ

松本は城下町の文化に育まれた「菓子のまち」。江戸期からつづく、素材の魅力を引き出す職人の技で新しいスイーツが生まれています。作り手たちが中心となり発信するスイーツブランドです。



バーの街

松本には本格的なバーが10軒以上あり、上質な空間と美味しいお酒が楽しめます。マスターとの語らいのひと時も松本の夜の楽しみの一つです。



地酒とワイン

アルプスの伏流水や厳冬を生かした地酒は高品質で人気。葡萄栽培の好適地、松本で収穫された葡萄で造ったワインは味・品質共に高評価。各感元、ワイナリー巡りも楽しい。

手仕事のまち

城下町の手仕事と、民芸運動の流れを
今も色濃く残し受け継ぐまち。
伝統に裏付けされた美の感性が息づくまち。



草木おり

松本紬

深山織

城下の時代から、松本には各地から腕の良い職人たちが集い、その技を競い合ってきました。昭和になり「民芸運動」の影響から誕生したのが松本民芸家具。染色や木工などもより活発になりました。山に囲まれ、良材を入手しやすく、乾燥した空気と豊かな水に囲まれた土地柄は、今もその匠の技を脈々と繋いでいます。



松本民芸家具



日本一の出荷量を誇るアルストロメリアやカーネーション。
ギターも松本が世界に誇る匠の技術の証です。

漆器

ギター

バイオリン

木工玩具



松本藩の夫人の間では、松本てまりや押絵雛が生まれるなど、生活の中でも手仕事が息づいていたのです。松本七夕人形は、お雛様や五月人形と同じように、七夕の節句に子供の厄払いと健やかな成長を祈って贈られる人形です。七夕人形を飾るのは全国でも松本地方だけで、江戸時代の風習が今も伝えられています。



松本てまり



松本市域図



松本の歳時記

日程はお問い合わせください。年3回季節のイベントガイド発行しています。

1	3日 上旬	松本城開門式 あめ市
	中下旬土曜	国宝松本城氷彫フェスティバル
3	上旬～下旬	福寿草まつり
	上旬～中旬	国宝松本城桜並木光の回廊
	14日～16日	島内の鳥居火
4	中旬	仁王尊股ぐぐり祭
	25日	美ヶ原高原開山祭
	27日	上高地開山祭
	上旬～6月末	乗鞍岳春山バス運行開始
5	中旬	乗鞍高原すもも祭り
	中旬	野麦峠まつり
	末の土曜	クラフトフェアまつもと
6	第1日曜	上高地ウェスタン祭
	下旬の日曜	ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会
	末の土曜	乗鞍天空マラソン
7	第1日曜	島立堀米の裸祭り
	上旬	乗鞍エコーライン開通
	海の日連休	ネイチャーリングフェスタ松本
	末の土曜	水輪花火大会
	末の土曜	国宝松本城太鼓まつり
8	第1土曜	松本ぼんぼん
	8日	白骨温泉花火大会
	8日	国宝松本城薪能
	中旬～9月上旬	セイジ・オザワ 松本フェスティバル
	下旬	マウンテンサイクリング in 乗鞍
9	中旬	国宝松本城月見の宴
	8日	上高地明神池お船まつり
10	上旬	信州松本そば祭り
	中旬	浅間温泉松明祭り
	中旬	国宝松本城古式砲術演武
11	3日	松本市民祭・各地新そば祭り
12	中旬～下旬	スキーフェスティバル Mt. 乗鞍スキーフェスティバル、野麦峠スキーフェスティバル

●観光のご案内

松本市観光温泉課	☎0263-34-3000
松本市山岳観光課	☎0263-94-2307
松本市観光情報センター	☎0263-39-7176
松本市観光案内所	☎0263-32-2814
銀座NAGANO観光情報センター	☎03-6274-6017
長野県名古屋観光情報センター	☎052-263-4118
長野県大阪観光情報センター	☎06-6341-8205
(一社)長野県観光機構	☎026-234-7165

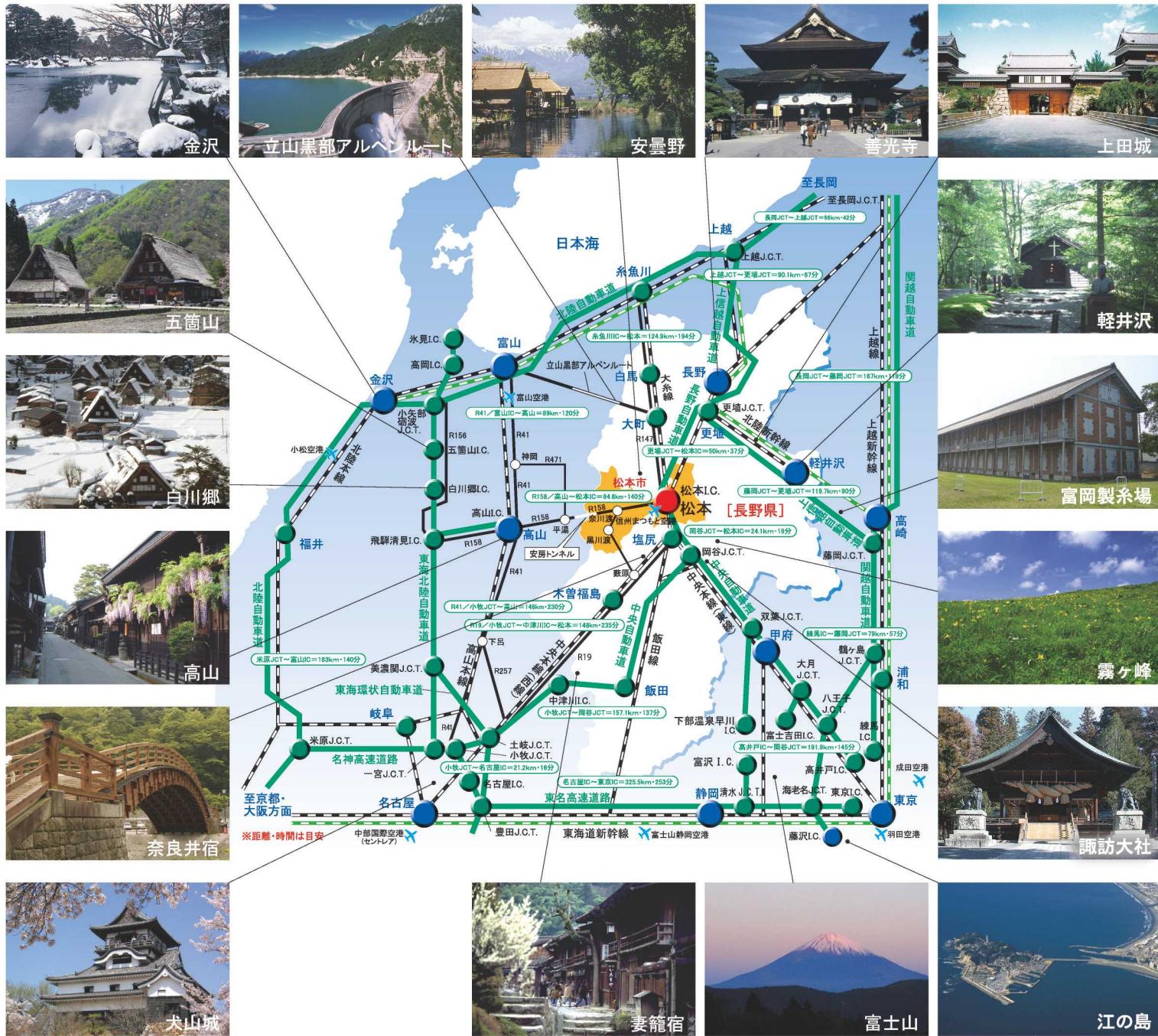
●宿泊のご案内

浅間温泉観光協会	☎0263-46-1800
松本ホテル旅館協同組合	☎0263-33-5025
浅間温泉旅館協同組合	☎0263-46-1224
美ヶ原温泉旅館協同組合	☎0263-33-2353
(一社)松本市アルプス山岳郷	☎0263-94-2221
上高地観光旅館組合事務所	☎0263-95-2405
乗鞍高原観光案内所	☎0263-93-2147-2952
白骨温泉観光案内所	☎0263-93-3251
さわんど温泉観光案内所	☎0263-93-1800
ながわ観光協会	☎0263-79-2125
松本市四賀観光協会	☎0263-64-4447

●交通のご案内

JR東日本お問い合わせセンター	☎050-2016-1600
JR東海テレフォンセンター	☎050-3772-3910
松本電鉄上高地線	☎0263-92-2511
NEXCO東日本お客様センター	☎0570-024-024
NEXCO中日本お客様センター	☎0120-922-229
松本バスターミナル	☎0263-32-0910
アルピコ上高地シャトルバスセンター	☎0263-26-3030
FDAコールセンター	☎0570-55-0489





JRで

- 新宿から(東京・千葉から一部直通あり)
- =中央本線／特急約2時間30分(1時間に1本)
- 東京から(長野経由)=新幹線利用約2時間20分
- 名古屋から=中央本線／特急約2時間
- 大阪から(名古屋経由)=新幹線利用約3時間10分

車で

- 名古屋から=中央自動車道(岡谷JCT)
長野自動車道利用で約200km松本I.C.下車、
松本城まで約10分
- 東京から=中央自動車道(岡谷JCT)
長野自動車道利用で約220km松本I.C.下車、
松本城まで約10分

飛行機で(信州まつもと空港利用)

- 福岡⇒松本 約 90分 FDA ※丘珠・伊丹は季節便
- 札幌⇒松本 約100分 FDA
- (新千歳・丘珠※)
- 大阪⇒松本 約 50分 JAL (伊丹※)

広域観光も魅力いっぱい

松本は観光拠点としても便利です。



新宿～松本間で運行しています。
「草間彌生 幻の華」草間彌生デザインの、世界に一台だけの高速路線バス

